

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

両側大腿骨近位部骨折の検討に関する研究

1. 研究の対象

2014年1月1日から2022年1月31日までの間に、当院の整形外科で大腿骨近位部骨折に対して手術を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

目的：下記の項目3に記載する診療情報等を利用し後ろ向きに調査し、片側のみ骨折した片側群と片側骨折後対側の大腿骨近位部も骨折した両側群に対して術後成績を比較検討することを目的としています。

方法：大腿骨近位部骨折に対して手術を施行し、術後6か月以上経過観察可能であった70歳以上の患者390例を対象として診療録を用いて後ろ向きに調査します。片側のみ骨折した片側群337例と片側骨折後対側の大腿骨近位部も骨折した両側群53例を2群に分類し比較検討を行います。この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：診断名、手術時年齢、性別、術前待機期間、入院時にMini Mental State Examination(MMSE)を用いた認知症の割合、転院になった割合、歩行不能となる割合、骨粗鬆症治療導入率。

4. 情報の提供先・提供方法

この研究は、該当しません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属大磯病院 (電話：代表 0463-72-3211 内線：5176)
研究責任者 整形外科 横山 勝也
問い合わせ担当者 整形外科 横山 勝也

-----以上